







サオリーナ建設予定地

 たぶん、サオリーナをつくるための材料の値段が、どんどん上がっていることなどが原因だったと思っているんだ。

 **それで、どうしたの？**


 その後も上がり続けている材料の単価を最新のものに変更したり、一部の改修工事を切り離した上で予定価格を見直して、平成25年11月に2回目の入札を行ったんだよ。このときも入札に参加したいという業者があったんだけど、結局また、直前に入札を辞退しちゃったんだ。

 **今度もやめちゃったんだ。どうしてなの？**


 工事の予定価格を見直している間にも、工事現場で働く人の賃金や材料の値段がどんどん上がり続けていたんだ。

そこで、設計会社にこの時点の市場の価格をもとに設計や積算を最新のものにやり直してもらったんだ。その設計の内容を三重県建設技術センターという公共工事の発注を助けてくれる専門機関にも適正か確認してもらったんだよ。その上で、最初に決められていた予算を増やすことを議会にも認めてもらって、建物の建築工事の予定価格(税抜き)を1回目の56億円から80億円に上げて、3回目の入札を今年の5月に行ったんだ。

 **どうなったの？**

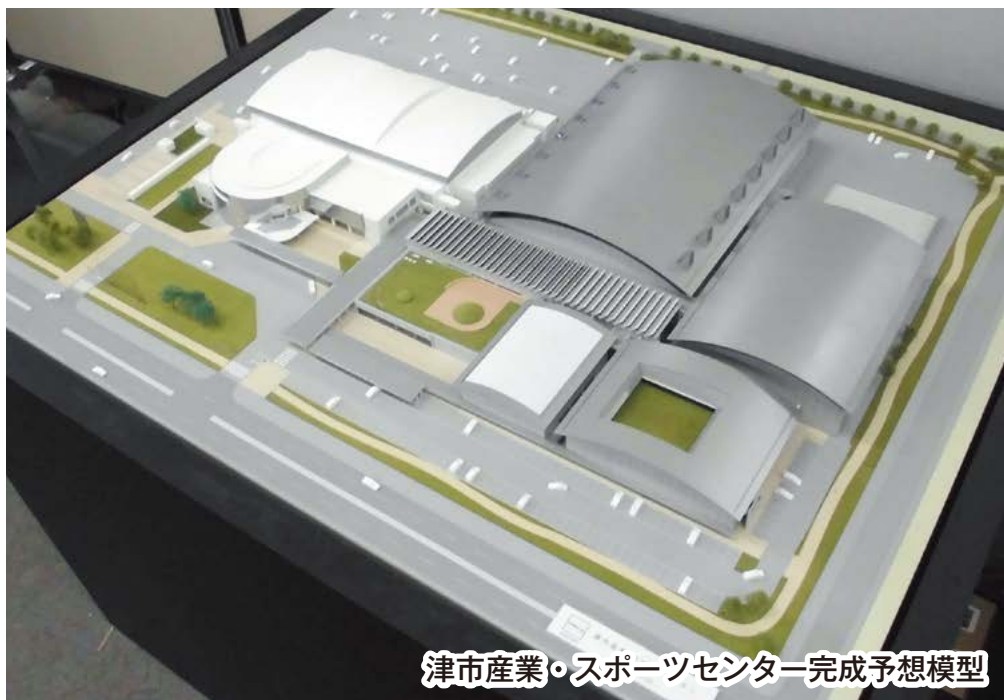
 今度は応札した業者があったんだけど、入札は成立しなかったんだ。驚くかもしれないけど、入札された価格は市が予定していたものを14億円も上回ったんだよ。

 **そんなことが起こっているんだね。でも、津市だけのことなの？**

 今、大きな建築工事では、全国で同じように契約できない話がいくつもあるんだよ。特に、工事にかかる期間が2年とか3年とか、長い期間必要になる大きな工事に起きているんだ。例えば、千葉県や富山県、熊本県の国立病院の建て替え工事のように、入札がまとまらないまま先に進んでいないものや、東京都の豊洲新市場の建設工事のように、入札がまとまらなかった後、予定価格を大幅に見直して(3つの工事で約400億円を増額)やっと落札されたものなど、たくさんの事例があるんだよ。

 **津市のほかの工事でもそんなことがあるの？**

 サオリーナよりも前に発注した大きな工事で、



津市産業・スポーツセンター完成予想模型